資料５

平成２５年５月２８日（火曜日）

北谷町
駐留軍用地跡地利用推進協議会

１ 策定済の跡地利用計画が計画どおり実行できる方策の検討

Ｈ８年政府から示された返還計画（ＳＡＣＯ合意）に基づき、本町がこれまで地権者とともに推進してきたキャンプ桑江（南側）跡地利用計画が、早期に実施できる方策の検討をお願いしたい。

２ 従来の区画整理事業では開発が厳しい環境におけるまちづくり手法の検討支援

今回返還・統合計画において提示のあった区域は、ほとんどがまちづくりには厳しい環境（規模・地形・形状）となっている。当該区域の跡地が、地域特性を活かした本町のまちづくりへ有効に活用できる手法・制度・財源について次の支援をお願いしたい。

（１）急傾斜地については、緑地保全の観点から適応できる事業の導入支援
（２）歴史的に保存が必要な区域については、文化財指定に係る必要な調査が返還前に実現できるようにしていただくと共に、それらに関連した支援事業の導入

３ 返還土地が計画どおり、いち早く利用できるよう、<u>駐留軍用地の跡地</u>という特殊性に配慮した制度整備

（１）国有財産については関係地方公共団体等に対して無償で譲渡していただきたい。
（２） 文化財調査については、政府が責任をもって措置を講じていただきたい。
（３）土壌汚染等の支障除去については、（無条件全域調査含む）積極的に取組んでいただきたい。
（４）返還に先立って国道拡幅工事が着手できるための手法検討の支援

以上